

底井野
校区

まちづくりだより

～みんなでつくろう 明るく元気な住みよいまち 底井野校区～

編集責任者：一田 滋
底井野校区まちづくり協議会
☎.Fax. 981-7265
校区人口 3,562人(-6人)
(令和2年12月末現在)



会長 長野 幹夫

新年あけましておめでとうございます

「底井野校区まちづくり協議会」は、設立して今年で6年目を迎えます。その間、地域の皆様方と様々な活動に取り組んでまいりました。しかしながら昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、計画していましたほとんどの活動を中止、縮小せざるを得なくなりました。その中で各自治会長様をはじめ皆様方の協力を得て4つの事業活動を実施致しております。

1. 「防災講演会」の開催。近年、集中豪雨、線状降水帯の発生により、全国各地で洪水災害が起こっています。当地域でも遠賀川の破堤による洪水の危険性が年々高まって来ています。国土交通省遠賀川河川事務所から講師を招き、全国各地の洪水災害の事例、破堤のメカニズム、遠賀川の破堤危険箇所、破堤した時の浸水シミュレーション等貴重な講演をいただきました。（講演内容をDVDに録画し各自治会長様に配布済）
2. 「底井野校区ハザードマップ」（避難ルートマップ）の作成。4月全戸に配布予定。
3. 「ふるさと昔ばなし」の再発行。木曾元市長が地域に伝わる昔ばなしを本にまとめたものを再監修。
4. 「青パト巡回」各自治会のご協力のもと、児童の下校時の見廻り、地域の防犯を目的に巡回しています。

昨年中間市は、中央公民館、市立病院等公共施設の廃止を議会に提案し、今後も公共施設の廃止が続々提案される可能性が高くなっています。小中学校の統廃合も検討されています（中間市ホームページに掲載）。

このような中、底井野校区まちづくり協議会は「みんなでつくろう 明るく元気な住みよいまち 底井野校区」をスローガンに掲げ「できる人が、できる時に、できることを」をモットーに活動しています。活動について皆様方のお知恵、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

一日も早く新型コロナウイルスが収束し、皆様方の生活が元に戻りますようお願い申し上げます。

上底井野

《恵比寿宮祭》

12月3日(木)月瀬八幡宮で恵比寿宮祭が行われました。祭典の後、フナを山田川に流し、今年の運勢を占いました。福を呼び込む打ち込みは宮司と代表者1名だけで行い、伝統の恵比寿料理は弁当として持ち帰りました。外でも運だめしの無料抽選会が昼まで行われました。



《歳旦祭》

1月1日(金)月瀬八幡宮で7時から歳旦祭が行われました。神事後、お神酒と脂ののったメザシをいただきました。



垣生

《歳旦祭》

12月31日(木)の23時30分より除夜祭の神事、1月1日(金)の0時より歳旦祭の神事が行われました。コロナの影響により密を避けるため例年ふるまっていたソバ、しょうが湯はなく、参拝者も分散されており、いつもの様子とは全く違った祭典でした。



《どんど焼き》

1月17日(日)9時30分より どんど焼きの神事があり、その後引き続き火入れとなりました。例年ふるまっていたぜんざいもなく、閑散とした様子でした。早くコロナがおさまりますように無病息災を祈念しました。



防犯情報

中間市通谷の女性宅に、市役所と銀行の職員を装う男から「還付金があるので近くのATMに行ってください」「操作を教えますので、着いたら電話をしてください」等、不審電話がかかってきました。

●不審に思ったら、家族や警察に相談しましょう。

